

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第103号

[2018年2月号]

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第103号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動をほぼ毎月中～下旬ごろ会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<目次> [ページ]

メソトマンスリー

国内から

編集後記

次号の予定



メソトマンスリー



【メソト＝齊藤 つばさ】

最近のメソット

日本は東京でも雪が降ったりと、4年ぶりの寒波が大変ですね。メソトは朝が20度前後と日中が30度以上と1日の温度差が激しく風邪を引きそうな気候です。

12月に2期生の看護研修が終わって、看護スタッフが全部で43人になりました！

1期生のみで勤務していた時は1シフトに1-2人でしたが、今は病棟の中は各シフトに常に2-3人の看護スタッフがいるような感じでしょうか。

今までは、「本当は今日2人の患者さんの清拭(体拭き)が必要なことはわかっているけど、30分後にバイタルサインをとらなきゃいけないし、一人しか清拭出来ないなあ。もう一人は次の勤務でやってもらおう。」と仕事量が多く勤務時間内に業務が終わらないので次の勤務の人へ繰り越すこと。もしくは「新しい患者さんのアセスメントが必要なことはわかっているけど、もうすぐ勤務終了時間だし、次の勤務の人に頼みたいな。だけど次の勤務の人は今日休みだ。出来ないのはしょうがないな。」とできないのであきらめるといことが起きていました。

今スタッフが増えて、2期生が仕事に慣れてきたらもっと効率よく仕事ができるようになると思います。マンパワーの不足でやりたいと思っていることが出来ないことは、モチベーションも下がっていきますし、そういう流れが少なくなるとういなと思っています。

さて、メータオ・クリニックの勤務について少しお話ししたいと思います。

メータオ・クリニックは日勤、夕勤、夜勤の3シフトで勤務体制が組まれています。日本の病院のような一人ひとりのシフト制ではなく、各病棟に3つのグループがあり各勤務に配置されます。一週間毎に各グループが1つずつ勤務をずらしているの、今週はグループ1が日勤、グループ2が夕勤...。来週はグループ1が夜勤、グループ2が日勤というような形です。

そのため、外科の処置などでは先週のグループは00を使って処置を行っていたが、今週のグループはXXのやり方で行っている。という感じで、同じ患者さんへの処置もグループごとに(一週間ごとに)やり方が少しずつ変わっていて面白いです。いろいろな工夫がみられるので、いいなと思ったものを次の週の他のグループのスタッフへ「XXというやり方知ってる？」と広めています。

しかし、創部がたくさんある患者さんだと、入院時の記録以外に細かく記録が行われていないので、週が変わると、小さな傷やお尻の傷などの服を脱がないと見えない部分の傷の処置が忘れられてしまうことがあり、記録や引き継ぎが不十分なところが問題だなと感じています。

そして、看護スタッフにも引き継ぎノートが存在しています。(メータオ・クリニックのスタッフの送迎の関係で、入れ違いになることも多く確実に対面して引き継ぎを行えないため、ノートに書くという形が採用されています。)

”引き継ぎノートを勤務の最初に読むこと”という指導は研修中から行っていますが、1月



は2期生全員が病棟の勤務に慣れるため日勤のみの勤務で、1期生も同じ日勤にいと、次の勤務の看護スタッフがだれもいないため今週は引き継ぎを行う必要がないという環境がありました。2月からは、全員が3シフトに分かれて働くようになり、本格的に引き継ぎノートへ書く練習を始めました。

私：「引き継ぎに慣れていないし、すべての患者について思い出しながら書いていたらいつになっても終わらないから、とりあえず重要なことだけでいいよ！」と言ったものの、スタッフを観察していると、全然ノートが書かれず、何が重要でどの情報を引き継ぐことが必要なかわかっていない..?と感じました。

もっと具体的に関わらなければと思い、

私：「例えば、今の勤務でやりたかったけど、時間が足りなくて出来なかった事はない？他には、いつもの業務と違うことした？」と聞いてみると、

日勤スタッフ：「いつも夕勤がやってる処置だけど、今日はボランティアの医師がそれを見たいと言ったから日勤で処置したんだ！」

私：「それを夕勤のスタッフに伝えないと夕勤の人がまたやっちゃうから、引き継ぎノートに書いた方がいいよ」

日勤のスタッフ：「そうだね。他にもAさんは今日熱が高いから3時間ごとに熱計ってた。まだ熱が高いから観察してほしかったんだ。」といろいろ考えながら引き継ぎノートへ書いています。

引き継ぎノートやたまにある対面での引き継ぎを見ていると、ノートに書いたことを詳しく丁寧に伝える子や、「ノートに書いたよ。」とだけ伝えている子など、ノートへ記入しているもの、口頭で伝えているもののどちらも情報量がばらばらしているので、もう少し統一して行えるようにノートへ記入する最低限の情報を具体的に決めようという話が出ています。

最終的には全ての患者の引き継ぎが行えることが目標ですが、今は重要な患者をピックアップして、”次の勤務へ引き継ぐ”ということがなぜ必要なのか？（継続的な看護の視点）とどのようにやると効率よく送りができるか？をスタッフを中心として一緒に考えながら、スタッフが自ら引き継ぎをやる必要があると思って引き継ぎノートに記入することが習慣化するように、サポートすることが必要だと感じています。



国内から

【東京＝田中】

いつもメータオ・クリニック支援の会をご支援いただき、誠にありがとうございます。
皆様からいただいた支援金は、クリニックを受診する移民・難民の方々が、安心して治療を受けられるために大切にに使わせていただいています。

今日は、最近の日本事務局の活動内容についてご報告します。

当会の設立当初は、スタッフのほとんどが都内もしくは埼玉県、千葉県、神奈川県在住だったため、月1～2回、平日の仕事終わりに都内で集まって支援内容について検討・運営していました。そのあとの飲み会が楽しかったなあ、終電で帰っていたなあと懐かしい思い出です。

次第にスタッフがそれぞれ、大学院に進学したり、転職したり、家族の転勤など家庭の事情だったり、新たな道を歩むことになりました。現在は沖縄や北海道、海外に住んでいる人もいます。なかなか都内で集まることのできる人がいなくなってしまったので、最近、月1回の定例会は、集まれる人は数人単位で集まって、Web会議で日本各地と現地をつないで話し合いをしています。自宅のできるので便利です。

JAMも設立してから、10年を超え、毎年、グローバルフェスタやミャンマー祭りのイベントに出店することが恒例となり、去年はクラウドファンディングにも成功することができました。

JAMの強みは、スタッフの大半が医師、看護師なので医療に関する知識は強いです。ですが、自らプロモーションをしていく力は、あまり得意ではありません。そして、本当はもっと会員の皆様にもアピールをしていかねばならず、報告が足りないというご指摘もあるのですが、専従で活動できる者は、現地派遣員のみという事情もあり、日本事務局は慢性的な人材不足に悩んでいます。そのため、グローバルフェスタやミャンマー祭りに出店する際も、人手が十分ではなく、出店するべきかどうかを悩みます。しかし、会のPR活動のためには貴重な機会であるため、できる限り出店をしたいと考えています。

皆様からの貴重なお金や物資などを預かって運営している以上、責任を持って取り組まなければなりません。同時に一人一人が無理せず、できる支援を細く長くおこなっていきたくとも考えています。ぜひ、賛助会員の皆様の中で、JAMの活動に少し関わってみたいなど興味がある方がおりましたら、ぜひ日本事務局までメールもしくは、フェイスブックのメッセージなどでご連絡をいただけるととてもうれしいです。職種や経験は問いません。日本事務局としては、会計や事務に長けた人もいと非常に心強いです。そして、理学療法士や作業療法士、介護や福祉系の職種の皆様にも、メータオ・クリニックという場所は、なかなか興味深い舞台だと思います。

なお、JAMでは、スタディーツアーやメンバーの現地視察時に医療器具、古着、文房具等の物資を運びメータオ・クリニックへ直接寄付しています。

現在は、緊急募金のお願いはしておりますが、「物資の受付はしておりません」のご了承ください。また、物資支援のご協力を願いたいときには改めて会報やホームページでお知らせいたしますのでその際には、どうぞよろしくお願ひします。

小さな会ですが、今後ともメータオ・クリニックを通じて難民、移民の方へ皆様の温かいご支援を届けていきたいと思ひます。会員の皆様と一緒に活動していきたいと思ひます。



編集後記

先月、東京にびっくりするくらい大雪が降りました。積雪し始めたのが夕方の帰宅ラッシュと重なったため、早く帰ろうとする人々で交通機関は大混乱。

翌朝、雪はやんでいましたが、私は何をどう思ったか、雪道を自転車で出勤してしまい、普段15分で済むところ、30分かかったうえに、指先にまで力が入りすぎてマウスのクリックさえ少しづらいほどの筋肉痛になりました。

そんなことがあった数日後、新聞折り込みの中に白いチラシが1枚入っていました。新聞配達店舗からのチラシでした。

そこには、配達の遅れ等ご迷惑をおかけいたしましたというお詫びと、雪の降らない地域から来た配達学生も多く、初めて積雪を体験した学生がいたことと、配達学生、社員が無事に事故もケガもせずに配達ができたとのお礼が書かれていました。

当たり前のように新聞が届いていましたが、あの大雪の中、夕刊も配達し、さらに雪かきもできていないままの早朝に朝刊も配達してくださったんだと改めて気が付き、それを配達してくださっていた皆さんがケガなく配達から戻ってこれたことを知って、とてもうれしく、ありがたい気持ちになりました。

次号の予定

次号は、3月中～下旬ごろ配信の予定です。

インスタ、ツイッター、ホームページも、随時更新してまいりますので ぜひ、お時間があるときにご覧ください。

メータオ・クリニック支援の会(JAM)の活動を支援して下さり、心より御礼を申し上げます。JAMの活動は皆さまからの温かい寄付によって支えられ、院内感染予防活動、移民学校での啓発活動など様々なプロジェクト・設備投資を実施しています。

支援の輪が広がっていくよう、どうぞ当会のFacebookもフォローして「いいね」や「リツイート」で応援してください。

当会では、都度の支援金の受け入れとともに、「1日10円からの支援」を基本とし、継続的なご支援をお願いする賛助会員制度を用意しております。

【一般会員】3,650円/年

【学生会員】1,825円/年

【法人会員】36,500円/年

当会ホームページにアクセスしていただき、お申し込みフォームから会員登録のうえ、指定の口座へのお振込をしていただきますと、賛助会員として登録させていただきます。詳しくは当会ホームページをご覧ください。



NPO法人メータオ・クリニック支援の会 Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

| | |
|-----------------|---|
| 日本事務局宛て Eメール | support@japanmaetao.org |
| JAMウェブサイト | www.japanmaetao.org |
| Facebook | Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM) で検索して下さい。 https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/ |



| | |
|------------------|---|
| Instagram | https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/ |
| Twitter | https://twitter.com/japanmaetao |

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

